

IDEC株式会社

株主通信

2022.4.1 – 2022.9.30

第76期上期のご報告

証券コード 6652



Think Automation and beyond...

TOP MESSAGE

前期に続き、当上期も過去最高の 売上高・利益を達成

当第2四半期連結累計期間(上期)の業績は、原材料価格の高騰や部材調達のひっ迫等の懸念要因はあったものの、グローバルベースでの製造業の設備投資需要は、昨年同様きわめて堅調に推移いたしました。

このような状況の中、IDECグループは当連結会計年度を初年度とする新中期経営計画の目標達成に向けて、ソリューション提供力のより一層の強化と、デジタル関連・自動車・工作機械・ロボット業界などを中心に、グローバルベースでさらに拡大している需要や、市場要求に柔軟に対応することで、主力のスイッチ事業、安全・防爆事業を中心に売上が増加いたしました。その結果、売上高と利益は半期ベースで過去最高額を更新し、売上高は432億円(前年同期比23.9%増)となりました。

利益面では、増収効果とともに売価の適正化も順調に進み、原材料価格高騰の影響も克服して、売上総利益率が前年同期の42.8%から44.0%に上昇いたしました。また、販売管理費比率の低減効果と円安による増益効果もあり、営業利益は76億円(前年同期比55.8%増)、営業利益率17.5%となりました。

なお、好調な業績を踏まえて、中間配当は期初予想の50円から15円増配し、1株当たり65円といたしました。期末配当についても65円とし、年間配当は100円から130円へと30円増配する予想としております。



通期業績予想を上方修正

期初計画において、売上高、営業利益とも増収増益を計画しておりましたが、当初予定を大きく上回ることが想定されるため、2022年9月に通期の業績予想を上方修正いたしました。修正予想では、売上高は835億円(前期比18.0%増)、営業利益は134億円(前期比38.5%増)となり、営業利益率は当初予想の14.5%から16.0%に変更いたしました。

なお、今回の業績予想の変更に伴い、5月に発表した中期経営計画の数値を上回ることになりましたので、中期経営計画の目標数値については、現在見直しを行っております。

(億円)	2022年3月期		2023年3月期	
	実績 (対売上比)	期初予想 (対売上比)	修正予想 (対売上比)	前期比
売上高	708	745	835	18.0%
営業利益	97 (13.7%)	108 (14.5%)	134 (16.0%)	38.5%
当期純利益	79 (11.2%)	75 (10.1%)	94 (11.3%)	19.0%

持続的な成長を実現するための中期経営計画

2023年3月期から2025年3月期までの3か年の中期経営計画では、長期的に営業利益率20%を実現するために、「成長戦略の推進」、「収益性の向上」、「経営基盤の強化」、「ESGの取り組み強化」の4つの基本戦略を推進しております。持続的な成長を実現するため、全社一丸となって取り組んでまいりますので、今後もより一層のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

Vision	Pioneer the new norm for a safer and sustainable world. いつも、ずっと、みんなに新しい安心を
Mission	To create the optimum environment for humans and machines. 人と機械の最適環境を創造
スローガン	PASSION FOR YOUR SUCCESS

代表取締役会長兼社長

船木俊之

HIGHLIGHTS

連結業績ハイライト

(2023年3月期 第2四半期累計)

IRサイトのご案内

詳細な財務データについては、
弊社IRサイトをご覧ください。



Point
01

半期ベースでの
売上高、利益が
過去最高を更新

Point
02

通期業績予想を
上方修正し、
年間配当を130円に増配

Point
03

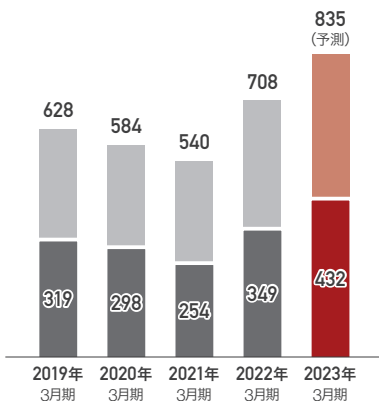
国内外において、
主力製品群の売上が
堅調に推移

売上高

432億円

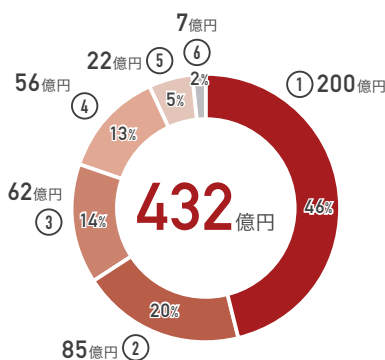
前年同期比 +23.9% ↗

(億円) ■ 上期 ■ 通期



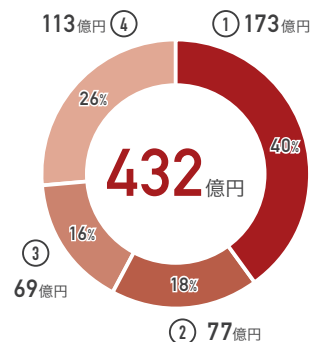
事業別売上高

- ① - スイッチ事業
- ② - インダストリアル・コンポーネント事業
- ③ - オートメーション/センシング事業
- ④ - 安全・防爆事業
- ⑤ - システム
- ⑥ - その他



仕向地別売上高

- ① - 日本
- ② - 米州
- ③ - EMEA (欧州、中東、アフリカ)
- ④ - アジア・パシフィック

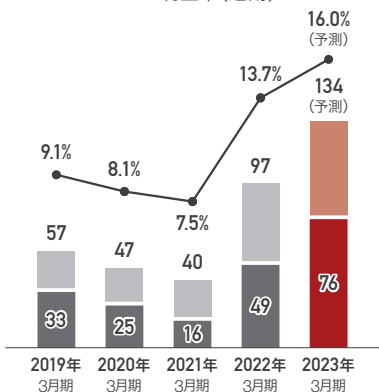


営業利益

76億円

前年同期比 +55.8% ↗

(億円) ■ 上期 ■ 通期
● 利益率 (通期)

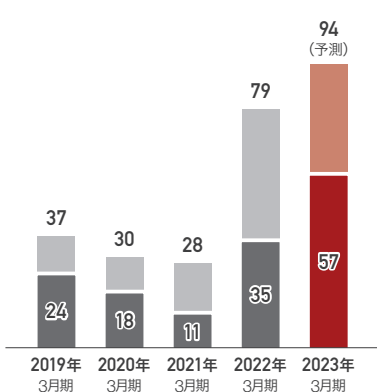


当期純利益

57億円

前年同期比 +61.4% ↗

(億円) ■ 上期 ■ 通期

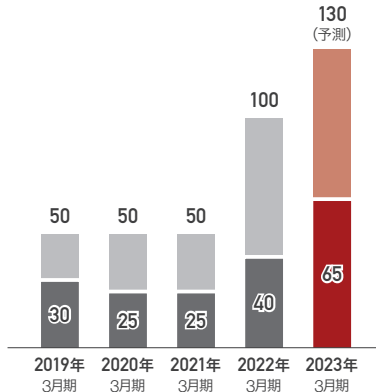


1株当たり中間配当金

65円

前年同期比 +25円 ↗

(円) ■ 上期 ■ 通期



PASSION FOR YOUR SUCCESS

「PASSION FOR YOUR SUCCESS」をスローガンに掲げ、新中期経営計画を2022年5月に発表しました。

長年培ってきた制御技術をベースに、自動化・無人化・省力化需要や、安全・安心・ウェルビーイングを実現するための取り組みを推進することで、社会課題の解決に貢献し、持続的な成長とカスタマーサクセスの実現を目指しています。

目標達成に向けた4つの基本戦略



成長戦略の
推進



収益性の
向上



経営基盤の
強化



ESGの
取り組み強化

01

**新たなコンセプト「HMI-X」の推進により、
お客様の課題を解決する最適な提案を行うことで、人と機械の最適環境を創造します。**

創業以来培ってきたIDECの「安全DNA」を活かし、人と機械の接点となるHMI (Human-Machine Interface) の考え方をさらに進化させた、人を中心とするHMI-X[Transformation]をIDECグループの新たなコンセプトとしました。HMI-Xを推進することで、IDECグループのパーパスである、人と機械の最適環境を創造し、世界中の人々の安全・安心・ウェルビーイングの実現を目指しています。

具体的な取り組みの一例として、2022年1月にパートナーシップ契約を締結した、フランスのez-Wheel社の製品とIDECの各種製品を組み合わせることで、お客様の課題を解決するさまざまな提案を行っています。ez-Wheel社は、自律走行に必要な駆動制御と安全機能を備えた、AGV(無人搬送車)・AMR(自律走行搬送ロボット)向けの、安全自律走行ホイールのメーカーです。業務提携により、IDECだけでは対応が難しかった、お客様の多様なニーズや課題に合わせたソリューション提案が可能になります。

またIDECの国内事業所2拠点で、ez-Wheel社製品を搭載した機器の試験導入を行い、検証を進めています。電動アシストホイール搭載の台車の導入により、重量のある防爆製品を1人でも簡単に運べるようになるとともに、物流センターでは安全自律走行ホイールを搭載したAMRによる自動搬送の実証実験を行っています。事業所のウェルビーイング向上・自動化に貢献するだけでなく、社内での試験導入を通じて知見やノウハウを積み上げることで、お客様に提案できるソリューションの強化を進めています。

HMI-X[Transformation]



IDECの事業所に導入した電動アシスト台車



IDECの物流センターで実証実験中のAMR

02

IDECの強みを活かせる「HMI・安全」分野のソリューション提案を強化することで、さらなる事業拡大を図ります。

売上の伸び率や市場シェア、収益性が高く、IDECの強みを活かすことができる、HMIや安全・安心を実現する製品、ソリューション提案の強化を推進しています。

HMI・安心分野強化のための取り組みとして、市場で求められている新たな機能を有する製品の開発を行っています。2022年5月に、非接触で操作が可能な「タッチレススイッチ」を発売し、10月には生産現場のタブレットに安全機能を簡単装着できる「セーフティコマンド」の新製品を発売しました。

また、2021年9月に設立したアルプスアルパイン株式会社との合弁会社では、両社の強みを活かした、安全・安心を実現する新製品開発を進めています。

生産現場の自動化や、労働安全意識の向上、ウェルビーイングの浸透などにより、安全・安心に関する需要はグローバルでも拡大しています。製品バリエーションのさらなる拡充を図るとともに、ソリューション提案を強化することで、グローバル安全企業への変革を推進していきます。

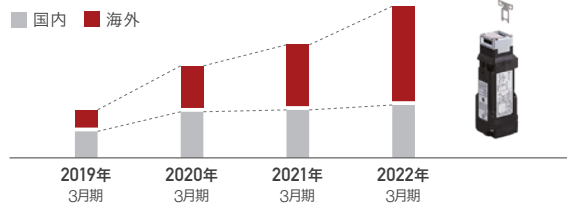


屋内・屋外に対応したφ22タッチレススイッチ「CW1H/CW4H形」



セーフティコマンド「HT4P形」

安全スイッチ「HS5L形」の売上高推移



03

ESGの取り組みを強化し、持続可能な社会の実現を目指します。

事業活動を通じた課題の解決により、持続可能な開発目標(SDGs)を達成していくためのさまざまな取り組みを行っています。2018年にCSR委員会を立ち上げ、環境、社会、ガバナンス、安全、品質を重点分野と定め、継続的な活動を推進しています。



気候変動への対応を重要な経営課題として取り組みを推進しており、2022年にTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)ガイダンスに沿った開示を行いました。

環境目標を設定し、CO₂排出量削減に向けて、国内外のオフィス・工場に自家消費型の太陽光発電設備の導入を加速することで、再生可能エネルギーへの電力の置き換えによる環境負荷低減を図っています。



経営基盤強化の一環として、エンゲージメントサーベイを実施し、社員の声を反映した課題解決を通じて、人的資本への投資を強化しています。

また、次世代幹部候補として女性を含めた育成プログラムを導入し、2025年3月期までに女性管理職^{*}15名以上とすることを目指しています。

^{*}部下のいる係長職含む



産業安全・安全衛生の取り組みをご評価いただき、2022年10月に中央労働災害防止協会の会長賞を受賞しました。国連の専門機関であるILO傘下のISSAが推進する労働安全衛生のVision Zeroキャンペーンに、日本で初めて賛同・登録し、Vision Zeroが掲げる7ゴールデンルールにもとづくアプローチを行うことで、職場で働く全ての人々の安全と健康、ウェルビーイングを高め、より安心して働ける職場環境づくりに努めています。



2025年3月期までの中期目標

- CO₂削減 24% ↓
- 産業廃棄物削減 24% ↓
- 環境配慮強化型製品新製品累計比率 60%以上 ↑

※2020年3月期ベース



NEWS

令和4年度「産業標準化事業」内閣総理大臣表彰を受賞

技術経営担当 常務執行役員である藤田俊弘が、経済産業省の令和4年度「産業標準化事業」において、国際標準化活動を通じた日本の地位向上や、日本発の国際標準の実現等、日本における国際標準化に極めて顕著な功績があった者を表彰する「内閣総理大臣表彰」を受賞しました。今回の受賞は、藤田が20年以上にわたり牽引役として推進してきた、多角的・多面的な日本発の国際標準化や国際ルール形成

活動への貢献が高く評価されたことによるものです。IDECは『The IDEC Way』のVisionにおいて、「Pioneer the new norm for a safer and sustainable world.」を掲げ、ものづくりの未来と新たな可能性を創造し、明日の「当たり前」となる、新しいスタンダード(標準)の開拓者になることで、全ての人々に安心とウェルビーイングをもたらす、より安全で持続可能な社会の実現を目指しています。



産業標準化事業表彰式
(左)経済産業大臣政務官 長峯誠氏
(右)IDEC株式会社 常務執行役員 藤田俊弘

DATA

コーポレートデータ (2022年3月31日現在)

企業概要

社名	IDEC株式会社
英文社名	IDEC CORPORATION
設立	1947年3月26日
資本金	10,056,605,173円
社員数	連結3,328名(2022年3月31日現在) ※特定社員・臨時社員含まず
上場取引所	東京証券取引所プライム市場

株式の状況

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	33,224,485株
株主総数	7,885名

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日/中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
お問い合わせ先	0120-782-031 (受付時間 9:00~17:00 土日祝日を除く)

電子公告により行います。
<https://jp.idec.com/idec-jp/ja/JPY/about-IDEC/ir/stockholder-information>
ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主さまの住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。



取締役



代表取締役会長兼社長
船木 俊之



代表取締役専務
船木 幹雄



常務取締役
山本 卓二



社外 取締役
小林 浩



社外 取締役
大久保 秀之



新任 社外 取締役
杉山 真理子

取締役(監査等委員)



社外 取締役
姫岩 康雄

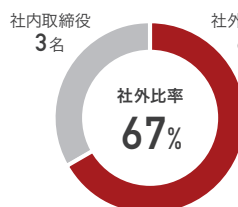


社外 取締役
金井 美智子

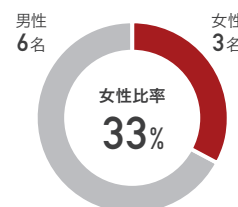


新任 社外 取締役
中島 恵理

社外取締役比率 (2022年6月末時点)



女性取締役比率 (2022年6月末時点)



IDEC株式会社

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6番64号
TEL:06-6398-2500(代表) <http://jp.idec.com>

